



中国日本商会

今どきコラムー95

中国雑談

### 外商投資奨励目録から見る三つの変化

国家発展改革委員会と商務部は 2020 年 12 月 28 日に 2020 年版『外商投資奨励産業目録』を発表し、人工知能や集積回路などのハイエンド設備製造業や新素材、エコなどの分野に外資のさらなる投資を奨励した。

2020 年版奨励目録は合計 1235 項目あり、2019 年版と比べて 127 項目増え、88 項目が修正され、外商投資を奨励する範囲をさらに拡大した。そのうち、全国外商投資奨励産業目録は 480 項目で、65 項目増え、51 項目が修正された。中西部地域外商投資優勢産業目録は 755 項目あり、62 項目増え、37 項目が修正された。関連する証券会社の報告を整理すると、主な変化は以下の三つの方面に現れている。

一つ目の変化は、**外資が産業リンケージ・サプライチェーンで積極的な役割を發揮することをさらに奨励したこと**。全国目録は引き続き製造業を外商投資奨励の重点的な方向性としている。

(1) 原材料分野では、高純度フッ化水素酸、フッ化水素、特殊ガラス繊維、偏光板ベースフィルム、拡散フィルム、フォトマスク、ポリエチレンポリアミン、高性能繊維などの項目が追加・修正された。

(2) 部品分野では、高圧力・真空部品、特殊バルブ、特殊ベアリング、特殊ガラス、車輪速センサーなどの項目が追加・修正された。

(3) 最終製品分野では、集積回路検査装置、L3/L4/L5 自動運転ハードウェア、レーザープロジェクター設備、4K テレビ、人工呼吸器、ECMO、AI 診療補助設備などの項目が追加・



修正された。

二つ目の変化は、外資が生産者サービス業、つまり工業生産の過程における連続性の維持、工業技術進歩の促進、産業の高度化と生産効率の向上のために補償とサービスを提供するサービス業へ投資することをさらに奨励したこと。それは以下の分野で現れている。

(1) 研究開発・設計分野では、第5世代移動通信技術研究開発、ブロックチェーン技術開発、污水处理施設設計などの項目が追加・修正された。

(2) ビジネスサービス分野では、ハイエンド設備メンテナンス、デジタル化生産ラインの改良と集積などの項目が追加・修正された。

(3) 現代物流分野では、越境EC（電子商取引）の小売りおよびコモディティの輸出入物流配送センター、住宅地域向け配達チェーンなどの項目が追加・修正された。

(4) 情報サービス分野では、オンライン教育、オンライン診療、リモートワークなどの項目が追加された。

三つ目の変化は、中西部地域に投資し、地域の開放型経済の発展と外向型産業クラスターを後押しすることを、外資に対しさらに奨励したこと。例えば、黒龍江や雲南などの省では農産物加工や観光開発などの項目が追加された。河南、陝西、広西などの省では医療設備、防疫・防護用品、原薬製造などの項目が追加された。湖北、四川、重慶などの省では半導体材料、グラフェン、工業用セラミックスなどの項目が追加された。遼寧、安徽、湖南などの省では高等職業教育機関の項目が追加された。海南では商業貿易、水上輸送、金融、観光などの関連項目が追加され、海南の自由貿易港建設を支持している。

国家発展改革委員会と商務部の公示によると、2020年版奨励目録の外商投資仮項目に適合すれば、関連する優遇政策を受けられる。

日本企業（中国）研究院 執行院長

chenyan5931@163.com